

DoKoネット 23

理工会報

March, 2016



理工会の新たな“仕掛け”

篠木 俊雄 副会長
理工会 (理工学部同窓会)

ご挨拶
林田 明
同志社大学理工学部長
同志社大学大学院理工学研究科長
同志社理工学会会長

新学長に聞く
松岡 敬 新学長
卒業生・先生方・学生の活躍



同志社ローム記念館

京田辺キャンパスの正門をくぐると正面の青空チャペルの右側に大きくそびえ建つ立派な建物が同志社ローム記念館です。

同志社ローム記念館は、ローム株式会社の寄付をもとに2003年設立された、情報教育施設です。学校法人同志社の法人共通施設で、同志社大学だけでなく、同志社女子大学、同志社国際中学校・高等学校をはじめとするオール同志社の学生・生徒が利用可能な施設です。

<http://roh.doshisha.ac.jp/>より引用。

写真提供：宇佐美 宏氏 (1986年電子工学科卒)

Greetings

Specials

What's new

Reportage

Information



理工会の新たな “仕掛け”



同志社大学
理工会(理工学部同窓会)
副会長
篠木 俊雄

昭和 61 (1986) 年 機械工学第二学科卒
昭和 63 (1988) 年 大学院<前期課程>修了
三菱電機 (株) 先端技術総合研究所

「理工会」の会員各位におかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

また今春、理工学部を卒業される皆様、および工学研究科を修了される皆様、新たな巣立ちに対し、心よりお祝い申し上げます。

同志社の理工学教育は、古くは1890年の「ハリス理化学学校」開校に由来します。そして、1944年の工業専門学校設立以降、72年間で4万人を超える卒業生が、様々な分野で活躍されています。また今年4月に、松岡教授(機械)の学長ご就任が内定しており、理工系からは木枝先生、原(正)先生に続き27年振りのことで、「理工会」としても喜ばしい限りです。

「理工会」は、卒業生の親睦をキーワードに、総会・講演会開催、名簿管理ならびに会報発行等を行っておりますが、今、幹事を軸に新たな“仕掛け”を思料致しております。例えば、昨年の総会後の懇親会では、応援団演武やフラダンス公演を試行し、今年も“仕掛け”を検討致しております。一方、連携強化のために支部創設という“仕掛け”にも取り組んでいます。

さて、「理工会」の課題の一つに、卒業生の想い出の地が、1994年頃を境に今出川派と京田辺派に分かれることが挙げられます。「理工会」のリユニオン・総会は、毎年11月上旬に交互開催として参りましたが、両者とも逆側への参加には、敷居が高い様です。今年は京田辺キャンパスでの開催になりますが、大学と連携を図り、「研究室公開」の“仕掛け”を検討しております。京田辺派の皆様に旧交を温めて頂くのは勿論、今出川派の皆様にも、是非ともこの機会に京田辺へご来訪頂けたら幸いです。

これら“仕掛け”に対して、諸先輩ならびに若い世代の方々からも忌憚なきご意見やご提案を賜わり、「理工会」の発展に繋げて行きたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。なお、末筆になりましたが、皆様のご健勝とより一層のご活躍を心より祈念申し上げます。

ご挨拶



同志社大学理工学部長
同志社大学大学院理工学研究科長
同志社理工学会会長
林田 明

昨年の11月29日、同志社は創立140周年を迎えました。11月8日には同志社創立140周年記念リユニオンおよび同志社大学ホームカミングデー2015に合わせ、今出川キャンパスで理工会の総会・リユニオンが開催されました。講演会や懇親会に加え、初めて理工会「女子会」が企画されたこともあり、多くの卒業生や教職員が交流を深める貴重な機会となりました。今回の催しは良心館や寒梅館といった新しい建物を会場としていましたが、ハリス理化学館や扶桑館、寧静館、博遠館など懐かしい建物を訪ねられた方もおられたと思います。一方、今年は田辺校地開校から30年、工学部と工学研究科、

理工学研究所の統合移転から22年目に当たります。現在の理工学部の教員にも、今出川で過ごした経験を持たない人が多くなりました。現役の学生や教員にとって、同窓会の皆さんとの交流は同志社の歴史と伝統を実感するためにも大切なことと思います。

DoKoネット第22号にも紹介されましたように、昨年の3月末に献堂式を迎えた同志社京田辺会堂は、言館(KOTOBA-KAN)、光館(HIKARI-KAN)と呼ばれる2つの建物からなる施設です。光館のラウンジには新島襄関連資料の展示スペースが設けられており、2016年度の春学期には「新島襄と自然科学」というテーマで、幕末の江戸やアメリカで使われた教科書やノート、開校当時の写真資料などが展示される予定です。欧米の先端の学問を日本に導入しようとした新島先生の思いを知ること、現代の科学技術と良心の調和を考えるためにも意義深いものと思います。この機会に京田辺キャンパスの新しい建物にも足を運んでいただき、同志社の歴史と伝統を確かめながら母校との繋がりを強めていただくことを願っています。

松岡敬

同志社大学理工学部教授

1979年、同志社大学工学部卒業
1981年、同工学研究科博士前期課程修了
1998年より現職
2016年4月、同志社大学学長就任予定

オール同志社 オール理工会で バランスの取れた 成長を



この度、第33代学長に選出されました。同志社の建学の精神は「良心を手腕に運用する人物の育成」です。人間教育を建学の精神として創立当初から明確にしている大学は、世界でも珍しいのではないのでしょうか。同志社の財産とも言うべきこの精神は、卒業生によってさまざまな形で社会に浸透し、さらに次代へと受け継がれていきます。これだけの大規模な大学になれば、卒業生が社会に与える影響は小さくありません。教育の責任は重いと言えましょう。だからこそ教職員、卒業生、学生、つまりすべての「同志社人」が結束した「オール同志社」による大学運営の必要性を強く感じます。そのためにも今後は現場主義を大切に、その仕組みづくりも行っていきたいと考えています。

大学で重要なのは、研究と教育とのバランスです。同志社大学の学部・研究科は14学部、16研究科に増えました。今後は学部・研究科間の交流をさらに活発にする計画です。そこから新たに学際領域の学問が誕生し、研究の場が増えれば、学生にも新たな教育を提供できる。研究と教育がバランスを取りながら互いの可能性を広げていけるのです。これが新島襄の「人ひとりは大切なり」という言葉を体現する、同志社の丁寧な教育であると思います。

卒業生の皆様と同じく、私も同志社に育てていただいた一人です。自由主義の風土に育てられた私たちは、卒業後も自由な精神を無意識のうちに涵養してきたように

思います。だから同志社人には、マイナスをプラスに転換する力、前向きに生きていく力があるのではないかと。原点は同志社大学にあったのではないのでしょうか。私は同志社創立100周年の年に入学し、140周年の年に次期学長就任が決まりました。縁を感じます。学部長の任期中だった2008年には、工学部を理工学部に変更しました。当時はあのような大仕事をする力が自分にあるとは思いませんでしたし、再編にはご批判もいただきましたが、非常に良い経験をさせていただきました。不思議な力に動かされて成し遂げられたようにも思います。あの経験が私の原点です。

私の専門は機械要素です。機械とは、実際に動いてこそ役立つもの。大学の運営でも、真理に近づく努力は継続しながらも常に現実に向け、アイデアを十分に練り、政策を実現させたいと考えています。また、多数のギアがバランスよくかみ合って回転してこそ機械は動きます。そこで想起するのは同志社大学の教育理念「知・徳・体の調和」です。三つが一体となりバランスがうまく取れば、人は滑らかにどの方向も向ける。どのような環境にあっても判断力、決断力、実行力を失わない、自由な人間でいられるのです。同志社人としての「理工会」の皆様のご活躍を心よりお祈りするとともに、同志社大学、また理工学部の発展に今後ともお力をお貸しいただきますようお願い申し上げます。



最優秀研究発表賞・AICEの発表会で
学生二人が最優秀研究発表賞を受賞

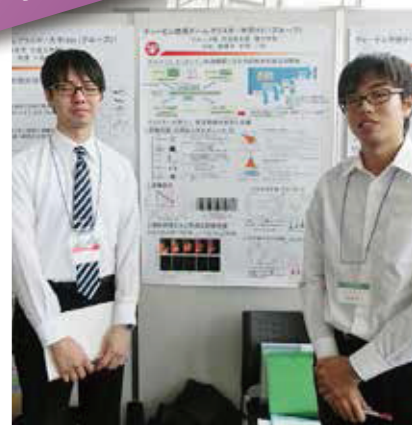


戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 「革新的燃焼技術」への取り組み

機械システム工学科
松村 恵理子 准教授

EUでの近年の自動車開発において、急速な技術展開と早い市場導入はドイツの自動車メーカー間が大学研究機関と連携し国が後押しした成果である。ここでは、自動車メーカー間で非競争領域となる開発テーマを産学が連携して成果を出しプラットフォーム化、これを各社で製品化に利用し競争する構図となっている。この枠組みはFVVと呼ばれる内燃機関の研究コンソーシアムをはじめ幅広い自動車技術分野で実施され、人材交流、育成の観点からも実績を上げている。日本においてはこのような産官学連携での開発の大きな枠組みはなかったが、経済産業省の次世代自動車戦略において“自動車は国内総生産(GDP)に大きく影響する基幹産業であり、内燃機関がこれからも重要”と位置づけたことを背景に、内閣府主導による戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の10課題の一つとして「革新的燃焼技術」がテーマアップされた。このテーマはJST(国立研究開発法人科学技術振興機構)ハンドリングのもと4つの研究チーム(ディーゼル、ガソリン、制御、損失低減)に分類され、大学研究機関を中心として企業側からの支援を得ながら2014年10月より5年間、乗用車のガソリンおよびディーゼルエンジンを対象とし最大正味熱効率50%を実現するため、初年度予算20億円の産官学連携大型研究開発プロジェクトとして実働を始めた。SIP「革新的燃焼技術」実働に先立ち、2014年4月には自動車メーカー9社および中立機関2団体で構成される自動車用内燃機関技術研究組合(通称AICE)が発足し、産業界の立場で全面的バックアップの体制となるようJSTと連携協定が結ばれている。同志社大学は、ディーゼルチームにて大

きな役割で参画する機会を得た。現在のディーゼルエンジンは熱効率40数%である。ここ10年間の乗用車用ディーゼルエンジンの熱効率が数%



SIP発表会でポスターセッションする学生2名とポスター

の進化であることを考えれば5年弱のSIP研究期間において目標の最大正味熱効率50%の実現は極めて高い設定である。燃料の持っているエネルギー100%の内、そのほとんどが排気損失(排気ガスの熱 約30%)、冷却損失(エンジン燃焼室壁面を介して冷却水などへの放熱 約20%)、機械抵抗の損失(約10%)となり、熱効率向上には我々が担当する冷却損失低減研究にその期待が大きく、排気損失低減と背反関係にあることから最も難易度の高い研究課題であるといえる。ディーゼル燃焼の噴霧形成過程に着目し、燃料の物性(沸点等)を利用することで噴霧火炎性状を制御し誰もが成し得なかった低熱損失燃焼を実現する新たな発想で研究を開始した。2015年度は容器実験であるが順調に成果を残すことができた。いよいよ2016年度、実機単気筒エンジンを使用し冷却損失低減可能な燃焼コンセプトの提案のための研究に着手する。限られた時間の中で現象1つ1つを丁寧に必死に分析する毎日であり、参画している学生達にとっては貴重な経験である。同志社大学から数多くのサイエンスを発信し目標達成に大きく貢献していきたい。

★理工会最新の“3つの仕掛け”のご紹介

理工会「女子会」発足

理工会幹事 松村 恵理子

あいにくの雨でしたが、初の試みとして2015年11月8日(日) 大学のホームカミングデーおよび理工会の総会・リユニオンに合わせ、理工会「女子会」を今出川キャンパスの良心館418教室にて11時～13時までの約2時間開催しました。

OG・現役学生・教員合わせ15名の方々にご参加いただき、様々な年代・学科・立場を超えて意見交換することが出来ました。OGは学生時代の思い出や卒業後の進路など、理系女子(リケジョ)が現在より少なかった時代の様々な立場から語っていただき、学生は普段なかなか聞けない社会人としての心構えや今しかできない、今やっておいたらいい事などのアドバイスをいただいております。

ました。また、先生方からは、昔と今のキャンパスや学生の変遷を写真やデータを用いて分かりやすく解説いただき、OG、学生それぞれが環境の違いに驚いていました。

初めての開催で参加者が集まるか不安でしたが、色々なお立場の方々にご協力いただき、少人数ではありますが、和やかな雰囲気の会となりました。



東京支部発足準備

理工会東京支部発起人代表 片桐 陽

私は、昭和42年に電気工学科を卒業した。4年のゼミは、岩本国三教授であったが、第一志望でこのゼミを受けたのは私以外ではもう一人くらいしかいなかったようだ。



卒業後は、アンテナメーカーから一年後に音響メーカーのパイオニアに転職、定年迄勤め上げた。28歳で本社商品企画部に転勤、横浜に自宅を建てて以来現在も居住している。

数年前から同志社東京校友会の常任幹事を仰せつかっているが、その頃からリユニオンに出る度に理工会東京支部の立ち上げに協力して欲しい、とお願いされていた。ただ、この二年東京校友会の機関誌「東京ジャーナル」の編集長も兼務していたので、なかなか動き出すことが出来なかった。

しかし、今年の新年号で編集長を後任に委ねる事が出来たので、今春本部の思いを実現したいと考えている。幸いなことに東京校友会の常任幹事の中に工学部出身者が5名いることや関東甲信の支部長にも工学部卒の方々もおられる。更に、本部からも立ち上げに協力頂ける方々の紹介も頂いているので、彼等を発起人として、理工会の東京支部立ち上げを進めて行きたい。

また立ち上げに際し、その範囲をどこまで広げるのか、それにより東京支部か関東支部とするかなど、本部の方々とも良く相談し、今後進めて行きたい。

いずれにしても、関東在住の多くの同志社理工会の方々に集まって頂きたいと思っている。

趣味の会「ゴルフ」の仕掛け
同志社オーム会(Ω)と会長杯争奪ゴルフ
報告 (S40年卒) 森本 護

この仲間は、学生時代に電気、電子工学を専攻した、共にオーム(Ω)の法則に大変お世話になった仲間の集まりです。

毎年、春秋の気候のよい一日をゴルフと旬の話題で歓談を楽しんでいます。

2010年に同志社、電気、ゴルフというキーワードで、お互いに気兼ねなくゴルフを楽しみながら、共通の話題で話ができて、少しでも長く続けたいという願いから始まりました。

現在、昭和38年から昭和48年卒業の面々です。



昨年になりますが11月12日(木)に快晴の枚方国際ゴルフ倶楽部に集まりました。優勝されたのは井上智雄さん(S39年卒)、オーム賞は高橋邦夫さん(S40年卒)などでした。今回は年配組が頑張りました。

当日の話題は井上さんがOUT3番ホール(120)で見事にホールインワンを達成されたこと、次期学長選挙で久しぶりに工学部から松岡敬教授(機械工学)が選ばれたこと、リユニオンホームカミングデーの賑わいなどでした。

今回は6月13日(月)枚方カントリー倶楽部を予定しています。また、今回、理工会会長杯争奪親睦ゴルフ大会の開催(6月5日(日))も予定されています。同窓会にご理解とご協力頂ける方ならどなたでもご参加できます。詳細は、最終ページに掲載していますので、多数のご参加をお待ちしています。

第18回 盛年会開催報告

1959年 電気工学科卒業 近藤 晃司

盛年会は1959年に工学部電気工学科を卒業した同窓の会です。

私達の学生時代は、工学部は機械科・化学科・電気科と3学科で、校舎は今出川キャンパスで同工館と言って木造でした。現在の良心館の奥で博遠館付近にあり、裏は相国寺の参道でした。寒梅館は大学のプールでしたし、京田辺キャンパスは建設が始まった頃でした。

盛年会は傘寿（前後）で約50名程度のグループで2年に1回の会合です。

口だけは達者で体はガタガタですが、“盛年会は永遠に不滅です”が合言葉で、母校の京都で開催していましたが、今回は初めて現地会員の協力をして戴き、初めて北陸和倉温泉



にて開催する事ができました。当初は19名の参加者予定でしたが13名になりました。参加者の中にも体調の悪い方もおられ、助け合いで金沢市内・能登半島観光巡りも無事に終える事が出来ました。

少人数でしたが、思いやりの心の尊さを身にしみて感じた会でした。

今回参加出来なかった皆さん、ぜひお会いしましょう。頑張れ〜っ!

23年間の欧州駐在記

1984年 電気工学科卒 岩本ゼミ 三村 浩

大学卒業後、プリンターメーカーに就職しました。開発部に配属され、アメリカのある企業向けに銀行端末用プリンターの開発に携わりました。アメリカ企業との付き合いから英語が鍛えられ、30歳の時、イギリス、マンチェスターへの赴任の辞令が降りました。欧州販売本社でした。それから8年間イギリスに赴任し、欧州各国を飛び回りました。商売のねたになりそうな話があると、すぐに現地に出張し販促活動に没頭しました。

8年間の赴任が終わり帰任しますと本社での与えられた業務領域の狭さに驚き、やはり自分は海外で思う存分働くのが性に合っていると思っていたところ、ゲームメーカーよりお話し頂き、直ぐに転職しドイツ、フランクフルトに赴任しました。既に15年が経ちました。同じ欧州でも、国によって国民性は大きく違います。イギリス人とドイツ人の国民性の違いをご説明致します。これは私が直に経験した事です。イギリス人は、時間にルーズ、仕事が雑、しかし、話上手でプレゼンテーションはやたらと上手でした。所謂口が立つと言う人達です。しかし、プレゼンした内容を実行に移す段階になると実務は、非常に貧弱でした。それに比べてドイツ人は、時間はきっちり守りますし、仕事も丁寧です。プレゼンテーションは下手ですが、しっかり実務をこなしてくれます。どちらが、会社に役立つかと言えば、歴然とドイツ人と働いた方が仕事はスムーズに進みます。その反面、ドイツ人は、自分のミス認めません。ミスしても、同僚の所為にしたり、部下の所為にしたりして自分のミスをめったに認めません。プライドは非常に高い人達

です。イギリス人はミスすると意外なまでにあっさりと謝ります。

人として付き合いには、イギリス人と付き合っていた方が、当然気持ち良いです。話上手ですし相手を

思いやる気持ちも持ち合わせています。ユーモアのセンスも抜群です。それに比べドイツ人と付き合いと、やはりギスギスします。同僚の悪口を言ったり、けなしたりすることが少なくありません。ドイツの歴史的な背景も影響していると思います。イギリスでは街角には必ずパブがあります。イギリス人の同僚とパブに行くと、ビール一杯目は私が奢ると2杯目は同僚が奢ります。3杯目からはどちらが払ったのか覚えていない事が普通で相手を思いやる精神が大変心地よいです。私自身、人との繋がりを非常に大事にして居ます。日本では、味わえない人との繋がりを欧州で沢山経験しました。

海外で仕事するという事は、色々な文化、人種に触れ、且つその国々の商習慣に従って、ビジネスを進める必要があります。それは見識を広め、人を大きく成長させると思います。皆様方も海外で仕事する機会がありましたら、是非とも飛び込んで行って色々な経験を積んでさらに大きく活躍して下さい。



2014年7月マッターホルンにて

2015年度 同志社大学 理工会(理工学部同窓会) 総会・リユニオン報告

日 程 2015年11月8日(日)

場 所 同志社大学 今出川キャンパス

<女子会> 11:00~13:00 良心館4階418教室

<卒業生レセプション> 12:40~14:00 寒梅館1階特設会場

<総会> 参加者:約50名 14:15~14:55 良心館1階106教室

理工会会長挨拶 橋詰 源治

理工学部長・理工学研究科長挨拶 林田 明

- 【議 事】
1. 2014年度事業報告 …全員一致で承認.
 2. 2014年度会計報告 …全員一致で承認.
 3. 2015年度事業計画および予算 …全員一致で承認.
 4. 次期役員選任 …全員一致で承認.

<講演会> 参加者:約50名 15:00~16:30 良心館1階106教室

司 会:東城 哲朗 理工会副会長

講 師:佐藤 健哉 教授

同志社大学理工学部情報システムデザイン学科 教授,
同志社大学モビリティ研究センター センター長

演 題:『協調型自動運転を目指して』

<懇親会> 参加者:47名 17:00~19:00
京都ガーデンパレス 大宴会場

同志社大学 Home Coming Day, 11月8日(日)の14:00~19:00にかけて今出川キャンパス, 良心館 106 教室で理工会 総会・講演会および午前中に良心館418教室で女子会(本年から設置された新しい会の Kick off Meeting)を, その後, 京都ガーデンパレスホテルにて懇親会をそれぞれ開催致しました。総会(参加者約50名)では通常議案および本会愛称を「理工会」とすること, 理工会活性化事業を強化して行く旨が了承, 確認されました。講演会(参加者約50名)は理工学部教授 佐藤健哉先生に『協調型自動運転を目指して』と題して, 高齢化社会や地方過疎化における移動手段のパラダイムシフトにつき興味に溢れる内容でお話し戴きました。その後, 場所を御所 蛤御門の正面にある会場に変えて, 副学長・理工学部 辻先生, 理工学部・理工学研究科長 林田先生, 樹徳会 副理事長 須田氏, 工学部岳稜会メンバー8名の方々を始めとするご来賓13名, 理工会会員30名, 理工学部現役学生の女性4名が集い, フラダンスサークル, 応援団・チアリーダーの出演を得, 和気あいあいの楽しい時間を過ごしつつ旧交を温め, 予定の催しを恙無く終えました。

(理工会副会長 東城 哲朗 記)
同志社タイムス第717号より転載

Message

藤原弘先生(機械システム工学科 准教授) 退職のご挨拶

任期満了に伴い退職することになりました。5年前の入社以来, 私なりに教育に研究に一所懸命に務めたと思っております。この5年間で多くの研究成果を出せたのは, 一重に, これまでご指導頂いた, 上司・先輩方, 助けて頂いた同僚の皆様のお陰だと思っています。私は退職いたしますが, どうぞ今後とも変わらぬお付き合いをお願いいたします。



同窓会委員からのメッセージ

理工学部同窓会「理工会」は卒業生の参画が一番望まれます。学部卒業時の研究室・ゼミを単位とし、卒業後の連絡の便利さを考慮し、大学院進学卒業生から1名の同窓会委員を選出してもらっており、毎年卒業時もしくは卒業後(今年は5月21日(土)が予定されています)に在学の同窓会委員を中心に懇談会を開催し、「理工会」活動を活性化させる試みをしております。今年度大学院を修了され社会に出られる同窓会委員で、メッセージをご投稿頂いた方々を紹介いたします。



情報数理工学
研究室
栗山 十織
(Kuiyama Tooru)
大学院で学んだことを活かして
頑張ります。



共創情報学
研究室
植田 耕慈
(Ueta Kohji)
常に成長を続けられるように
頑張ります。



金属材料科学
研究室
樋渡 翔
(Hiwatashi Sho)
修了まで支えてくださった方々に
感謝致します。



噴霧・燃焼工学
研究室
中山 亮
(Nakayama Ryo)
恩師の教えを忘れずに、
最高のエンジニアを目指します。



生体機能化学
研究室
日下部 茜
(Kusakabe Akane)
6年間お世話になった方々に
感謝致します。



知識情報処理
研究室
時田 直弥
(Tokita Naoya)
修了まで支えてくださった
研究室の方々に感謝いたします。



音声言語処理
機構
研究室
荒木 智彰
(Araki Tomoaki)
院生活にて培った思考力を活かし、
社会人生活を充実させます。



応用材料工学
研究室
久米 瑛巖
(Kume Teruo)
今後も成長できるように頑張ります！



流体力学
研究室
井上 大志
(Inoue Taishi)
同志社大学修了生としての自覚と誇りを
持ち、社会に貢献できるよう尽力します。




分子化学工学
研究室
高田 剛
(Takada Tsuyoshi)
今まで私を支えて頂いた方々に
感謝致します。



社会情報学
研究室
木村 公哉
(Kimura Koya)
同志社大学で学んだことを生かし、
社会に貢献します。



電力系統解析
研究室
中川 真希
(Nakagawa Masaki)
本学でお世話になった皆様に
感謝致します。



生産システム
デザイン
研究室
中川 正夫
(Nakagawa Masao)
これからも日々努力してまいります。
感謝。



機械力学
研究室
吉富 真美
(Yoshidomi Mami)
支えてくださった皆様に感謝し、
同志社での日々を糧として頑張ります。



移動現象
研究室
柚木 瑠美子
(Yunoki Rumiko)
修了までお世話になった方に
感謝致します。



知能メカトロ
情報システム
研究室
前川 翔大
(Maekawa Shota)
充実した研究室生活を
ありがとうございました。



機械要素・
トライボロジー
研究室
石原 広規
(Ishihara Hiroki)
研究でも他のことでもお世話になりま
した。ありがとうございます。



伝熱工学
研究室
高橋 範大
(Takahashi Norihiro)
学んだことを活かして立派な社会人
になりたいです。



電気化学
研究室
久保田 貴大
(Kubota Takahiro)
色々学ぶことがあった、
良い研究生活でした。



環境システム
工学研究室
熊本 光佑
(Kumamoto Kousuke)
厳しい社会でも生き抜く忍耐力を
養いました。

人事

【新任】(2016年度に新たに着任される教員)

エネルギー機械工学科	湯浅 元仁 (ゆあさもとひろ) 助教
化学システム創成工学科	竹中 壮 (たけなか さかえ) 教授
化学システム創成工学科	吉田 幹生 (よしだ みきお) 准教授
環境システム学科	大園 享司 (おおその たかし) 教授

【退職】(2015年度末で退職される教員)

機械システム工学科	藤原 弘 (ふじわら ひろし) 准教授
-----------	---------------------

【お悔やみ】(2015年度中に永眠された元教員)

豊永 俊郎 助教	2015.10.4 永眠
津田 博 名誉教授	2016.1.20 永眠

2016年度 理工会 (理工学部同窓会) 総会・リユニオンのご案内

2016年11月5日(土) 京田辺キャンパス (クローバー祭*と同日開催)

*クローバー祭とは学生・教職員・市民が一体となって、共に楽しみ、ふれあい、交流を広げ、大学と地域が連携した新しいコミュニティの場です。

急告

第1回理工会会長杯争奪 親睦ゴルフ大会のご案内

理工会では、会員相互の親睦を目的として、この度、第1回会長杯争奪親睦ゴルフ大会を企画いたしました。1名でも1組単位の参加でも歓迎ですので、お気軽にお申し込み下さい。大会概要は以下の通りです。

- 日時** 2016年6月5日(日) 9時スタート (7組確保しました)
- 集合** 8時30分/ダブルペリア方式で表彰します
- 場所** 日清都 CC (<http://www.nissin-miyako.co.jp/>)
宇治市菟道新池1番地 電話 0774-31-5101
- プレー費** 16,360円(昼食付き)セルフプレー
- 申込先** ゴルフ大会幹事 大枝 正人 (79年機械修士修了)
電話 06-6381-3395 FAX 06-6318-2000
メール golf@oeda.com
- 参加資格** 同窓会活動にご理解とご協力頂ける方ならどなたでも歓迎します
- 申込締切** 先着順 (7組になり次第締め切ります)
- 参加費** 3,000円 (会食費、賞品代に充当予定)

FAX、メールの場合には、表題に「同志社大学理工学部同窓会会長杯争奪親睦ゴルフ大会申し込み」と記載いただき、代表者のご連絡先、参加者のお名前、年齢、ハンデ、をご明記下さい。

同志社大学 理工学会・理工会 (理工学部同窓会)
ホームページアドレス

<http://dokonet.doshisha.ac.jp/>

同志社大学ホームページアドレス

<http://www.doshisha.ac.jp/>



同志社大学理工学部同窓会報 — DoKo ネット 23 号

2016年3月22日 発行
発行者: 橋詰源治
〒610-0321 京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学理工学部内
理工会(理工学部同窓会)事務局 TEL: 0774-65-6219 FAX: 0774-65-6850
印刷: 大枝印刷株式会社 TEL: 06-6381-3395 FAX: 06-6318-2000

理工会(理工学部同窓会)へのご質問、ご意見あるいは本冊子「DoKo ネット」へのご投稿をお待ちしております。理工会事務局までご連絡、ご投稿下さい。なお、DoKo ネットの発送につきましては、大口発送元である株式会社エルネットを発送代行として発送させていただきました。